

## 第 5 回「まちづくり活動発表会」開会あいさつ(2017・1・28)

本日は、私共で企画の“イベント”にご出席いただきましてありがとうございました。

只今から“より多くの市民に、まちづくり活動に関心を持っていただくために”を目指した、第 5 回「まちづくり活動発表会」を開催させていただきます。

それでは、今年度も多くの市民団体さまの中から、私共が 4 団体を選ばせていただき、それぞれの活動内容をご発表いただきますが、最初に、「なぜこの4団体が選ばれるの?」という皆さまの疑問にお答えしておきます。

まず、私共の活動過程で知り得た、市内の 280 団体を「しみんのちから」という市民活動団体情報(以前は冊子班で、今はWeb班)としてネット上で広報させていたしていますが、ここに収録の団体さまの中から第一次的に選ばせていただきました。ただし、この「活動発表会」は 4 年前から毎年開催しており、既に 17 団体をご発表済のため、これを除外させていただきました。

次に、市民活動の目的や、その運営の方法はさまざまですが、まちづくりのための「市民力」を育成・活用しつつ、更に多くの市民と共に発展的な活動にチャレンジをと考えておられる4つの団体を選ばせていただきました。そして、選ばせていただいた団体さまの活動に対して、「支援センター」から表彰をさせていただきます。

続いて、市でなく「支援センター」が何故表彰するの? また、表彰してもらって何か得ることができるのかという疑問にもお答えしておきます。

ご参考までに市の表彰規定は 10 年間の活動実績が必要ですが、私共の場合には最短 3 年間の活動実績があれば、今後の活動に期待しながら表彰対象にと定めています。

そして、ご案内の方も多いかと存じますが、私共「市民活動支援センター」は、大阪狭山市が民間に委託した形で運営されています。従って今の運営団体は“NPO 法人大阪狭山アクティブエイジング(略称 OSAA<<オッサ>>)”であり、OSAA の母体は大阪狭山の元気な高齢者 3000 名以上が参加する“大阪狭山市熟年いきいき事業実行委員会”です。

少し自慢話となりますが、熟年いきいき事業は、市と民間とで役割分担を決めた理想的な“市民協働事業”として現在も 18 年目で健在です。私共は、この市民協働スタイルをまちの発展のためにもっともっと普及させるべきと考えていたところへ、「支援センター業務」の運営を、民間に委託するための募集がありこれに応募して今日に至っています。従って、市との協働事業の類でまちづくり活動をされている市民団体を育成することがオッサの活動ミッションであり、これにヒットした市民活動団体にエールを送りたいという気持ちで「支援センター」が表彰させていただきます。

私共としては、表彰させていただいた団体とは、今後、改めて特段の親密度を深めたお付き合いができればと願っています。丁度今般、来年度以降 3 年間の受託契約が内定しました(3 年間を加算しますと当初から数えて 15 年間となります)。従って、向こう 3 年間はOSSAが運営する支援センターとして間違いなく、お付き合いが出来ることとなりました。お許しいただけるなら後は、なんでも相談し合えるお付き合いをと願っています。よろしく願います。

少し脱線しましたが、表彰の方法は、このごあいさつの後、僭越ながら「支援センター」を代表しまして、私から、それぞれのご活躍をどのように評価させていただいたかを具体的に刻印した「クリスタル製表彰盾」を贈呈させていただきます。今後のご活躍の拠り所の一つに加えていただくとか、今日の発表会にご参加の記念にさせていただければ幸いと考え特別に誂えさせていただきました。

更に、本日のご参加の皆さまは、今後のまちづくりに関して「もっと知り、つながり、活動したい」とお考えの前向きな方々です。本日のメインイベント「4 団体の活動内容発表」に続いて予定しています団体毎のグループワークにもご参加いただき、それぞれの団体活動への理解をより深めていただき、今後の交流に繋げていただければと考えました。以上の考え方で、活動発表会を開催させていただきます。よろしくお付き合いの程をお願い申し上げます。

結びにあたり、

本日のイベントが、ご参加の皆さま方のご協力のもとで、“一人でも多くの市民にまちづくりに関心を持っていただける“キッカケとなり、市民によるまちづくり活動の更なる活性化に繋がることを願いつつ「活動発表会」の開催ごあいさつとさせていただきます。